



かわ 川に、たくさんのいし があるのはどうして

かわ みず 川の水の3つのはたらき

かわ みず
川の水には、3つのはたらきがあります。

かわ みず かわぎし かわぞこ いわ いし つち すな はこ
川の水が、川岸や川底をけずるはたらき、けずりとった岩や石、土や砂などを運ぶはたらき、運んできたいわ いし つち すななどを、かわら かわぞこ つ積もらせるはたらきです。

かわ みず かわら かわぞこ いし つ 川の水のはたらきで、川原や川底に石が積もるから

かわ じょうりゅう は、ふつう、りょうがわ やま かこ たにま なが じょうりゅう かわぞこ
川の上流は、ふつう、両側を山で囲まれた、谷間を流れています。上流は川底のかたむきがきゅうで、水のながれがはやいので、かわぎし かわぞこ いわ
川岸や川底の岩などを、けずるはたらきがさかんです。

じょうりゅう でけずられた いわ なが
上流でけずられた岩などは、流されてくるうちに、かわぎし かわぞこ いわ
川岸や川底にぶつかったり、岩どうしがぶつかりあったりして、ちい まる
小さくくだかれて、丸みをもってきます。

かわ ちゅうりゅう じょうりゅう くら なが じょうりゅう はこ
川が中流あたりにくると、上流に比べてながれがゆるやかになるので、上流から運ばれてきたいわ かわら かわぞこ つ
石が、川原や川底に積もります。かわら かわぞこ いし かど まる
川原や川底の石は、角がとれて丸くなっています。

かわ かりゅう かわ みず いし
川の下流にいくにつれて、川の水のはたらきにより、石はさらにくだかれて、いし おお
石の大きさは小さくなっていきます。

かわ いし じょうりゅう いわ いし なが みず
川にたくさん石があるのは、上流でけずりとられた岩や石が、流されてくるうちに、水のはたらきでちい かわら かわぞこ つ
小さくなり、川原や川底に、たくさん積もるからです。（監修・国司 真）

